

ハニエ



Harmony



特集

鹿児島県男女共同参画地域推進員

●グループ紹介

鹿児島純心女子大学「S&I」

●センター事業から

語ろう!男女共同参画のこれまでとこれから

●インフォメーション

女性に対する暴力の問題に関する講演会・ワークショップ
「仕事と生活の調和」のための講演会・ワークショップ
キャリアアップ支援講座 ほか

●センターサポーター'Sコーナー

家庭科教員にインタビュー

●相談室から

相談室利用状況～平成20年度実績～



特集

県男女共同参画 地域推進員が誕生しました!!

地域において県や市町村と協力し、地域に根ざした活動を行う男女共同参画地域推進員制度がスタートしました。推進員は県民、市町村、県と連携を取りながら、地域における男女共同参画の推進に尽力します。

Q. どのような制度なのですか?

A 男女共同参画施策を推進し、男女共同参画意識の地域への浸透を目指します。平成20年度から平成22年度の3年間にかけて、県内各地に男女共同参画地域推進員を委嘱します。

Q. どんな人が推進員になるのですか?

A 男女共同参画の推進に理解と熱意のある方で、男女共同参画地域協働推進講座を受講・修了した方を対象に市町村長が推薦し、県知事が委嘱します。

Q. どんなことをしているの?

- A
- 地域や職場、学校などでの学習会等の講師やアドバイザーのほか、研修会やミニ集会などの企画運営を行い、男女共同参画に関する普及・啓発をします。
 - 男女共同参画に関する情報を地域へ提供したり、県及び市町村が行う男女共同参画施策の推進に支援・協力をします。
 - DVやセクハラ等の相談を受けた場合は相談機関の紹介もします。



鹿児島県は「社会通念、慣習、しきたりなどにおいて男性が優遇されている」と感じている人が7割を超え、不平等感を感じている人がいます。



よろしくね!!

推進員は皆張り切っています。
気軽に声をかけてくださいね!

県は男女共同参画に関する学習会や意識啓発に力を注いできました。その結果、男女共同参画社会推進に力を発揮できる人材が育ち、地域推進員制度を発足することができました。



男女共同参画地域協働推進講座の開催について

受講者の経済的負担の軽減を考慮し、平成20年度から22年度にかけて県内数力所で男女共同参画地域協働推進講座を開催しますが、どここの開催地でも県内全域から受講することができます。

年度	開催地域
平成20年度	北薩地域振興局管内
平成21年度	始良・伊佐及び大隅地域振興局管内、熊毛支庁管内
平成22年度	南薩及び鹿児島地域振興局管内、大島支庁管内

『県男女共同参画地域推進員』の

😊😊 皆さんです!!

男女共同参画地域推進員になった理由や思い、男女共同参画の視点での取組等についてお尋ねしました。

新戸 雄一
(阿久根市)



業務で相談を受ける中でDVを知り、これまで勉強を重ねてきた。男女共同参画社会の実現は今後も必要な課題であり、自分自身まだ勉強不足だと思うが、今まで自分が学んできたものを少しでも知らせる役割をしたい。

上垣 路得
(出水市)



男女共同参画の取り組みが、一人一人の暮らしとどのようにつながっているのか? 多様な暮らしのあらゆる場面で、その答えは見つかると思います。それを地域の皆さんと一緒に探したいと思っています。

窪 まま子
(出水市)



今まで様々な機会に学ばせていただいたことを生かして、男女共同参画の考えにより近い社会の実現のために、少しでもお役に立てたらと思っています。私が何かをするのではなく、地域のみなさんと共に活動できたらいいと思います。

鍵山 あけみ
(指宿市)



私の「生き難さ」を払拭してくれたもの、それが男女共同参画です。お互いが気持ちのいい、豊かなコミュニケーションを持って...そのための手法を、地域の人と学び合いながら、私なりの男女共同参画推進をはかります。

加藤 早百合
(指宿市)



校区PTA研修会で、男女共同参画出前講座としてお話をさせていただきました。ドキドキしましたが、いい経験になりました。また職場に「つぶやきBOX」を設置いたしました。まだ誰も書いていませんが、苦しい人が少しでも心が軽くなればと思っています。

小原 美津子
(薩摩川内市)



地域で男女共同参画の視点で楽しく、考え方、ライフスタイルをお互いに尊重しつつ関係団体と連携して協力していきたい。

橋口 秀子
(薩摩川内市)



行政や関係者の手が届かない部分を、微力ながら、地域や暮らしの中での意識向上に取り組んでいきたい。推進員として、地域コミュニティーの小人数、高齢者学級で、男女共同参画を語る会の進行を努めることがある。自分もこれを機に学習を深めたい。

橋渡 よし江
(薩摩川内市)



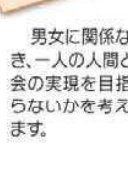
地域推進員として何ができるか、模索しながら学習を続けています。素敵な人たちの出会いに恵まれ、社会活動に参加できることが、とても楽しいです。日常生活の中で、常に男女共同参画の視点を持ち続けていたいと思っています。

取達 孝一
(南さつま市)



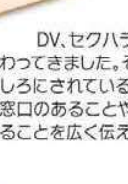
男女の人権の実現を目指して、多様な人のあり方・生き方を尊重できる地域のくらしが実現できるように、市の基本計画に照らして現状を把握し、その実現にむけて懇話会での具体的な提言作りに参加します。

高村 裕子
(伊佐市)



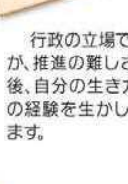
男女に関係なく、全ての人が多様な生き方ができ、一人の人間として尊重される男女共同参画社会の実現を目指して、今、自分が何をしたいとしないかを考えながら努力していきたいと思えます。

永山 信子
(伊佐市)



DV、セクハラ、離婚等女性の悩み事相談に関わってきました。その中には女性の人権がないがしろにされている相談が数多くありました。相談窓口のあることや、自分を大切に生きる生き方があれることを広く伝えたいと思います。

山之内 廣子
(伊佐市)



行政の立場で男女共同参画に関わっていますが、推進の難しさは実感として感じています。今後、自分の生き方を考えながら学習やこれまでの経験を生かし、活動ができていければと思います。

新福 愛子
(加治木町)



町の広報誌で紹介をしていただき、まずは自己紹介からと民生委員の定例会や保育所の職員研修などでご挨拶をさせて頂いております。女性の人権侵害に関わる深刻な相談も寄せられました。暮らしの現場にある数々の課題に丁寧に向き合い、推進を目指して参ります。

センター事業から

男女共同参画週間

♪ 語ろう! 男女共同参画社会づくりのこれまでとこれから
~ 男女共同参画社会基本法制定から10年 ~

日時 平成21年7月25日

場所 かごしま県民交流センター3階大研修室

かごしま女性政策研究会と県が協働で「男女共同参画社会づくりのこれまでとこれから」について語る会を実施しました。

かごしま女性政策研究会による「つぶやき」の朗読にはじまり、たもつゆかりさんの基調講話、県男女共同参画室長による県のこれまでの取組についての話、そして参加者から男女共同参画社会基本法制定から10年のこれまでの思いなどの活発な意見交換が行われ、充実した会となりました。



家庭科教員にインタビュー!

(男女共同参画の明るい未来)

男女共同参画センターサポーターが企画から取材、編集まで担当しているコーナーです。

Q なぜ家庭科を選ばれたのですか?

A 大学で専攻科目を選ぶとき、全く受けたことのない教科だったので選びました。通常の授業は普通に受けるだけでよいのですが、慣れない実習では、周りの女性が優しく教えてくれました。大学の先生が「家庭科は化学(科学)である」と言っていたので、理科のイメージを持ちました。

Q 男女共同参画についてどう思いますか。

A 授業の中で男女共同参画についても出てきます。DVや児童虐待も出てきます。「DVや虐待はよくないことなのにどうして起こるんだろう?」と生徒達に考えてもらいます。すると、ストレスがあったのでは、とか、周りのフォローが大切なのではとか、子ども達なりに社会のありようを深く考えるようになります。一人ひとりみんな違う人間であることを理解することが、男女共同参画ではないかと思っています。



霧島高校 西牟田修先生

鹿児島県は、家庭科教員で男性の方がいじりゃるよの情報をキャッチ! マッせくインタビューマせていただきます。霧島高校の西牟田修(ニムタケム)先生です。年齢は32歳。穏やかで目のきれいなお方です。



Q 生徒たちの反応はいかがでしたか?

A 生徒たちは最初「オオー!」と言うだけで、後は普通です。それよりも他の先生やPTAなど、大人の反応がすごいです。先ほどあった「なぜ家庭科を選んだのか」という質問は、もう何回と聞かれています。家庭科は生活にすぐ役立つ教科であると自負しています。生徒達が独り立ちした時に役に立ってくれたらと思っています。



家庭科は、環境問題、金融・経済問題、家計問題など、今起きている社会問題の全てが出てくる、社会の最先端の授業だそうです。男性女性にこだわることなく、自然体で授業をされている様子が伝わってきました。まだこだわっているのは大人達。私達がまだまだ心のなかにジェンダー(社会的性別)を持っているのだと気付かされました。子ども達はごく自然体で受け止めていることを知り、これからの男女共同参画の未来は明るい并希望を持つことが出来ました。今はまだ鹿児島県の家庭科教員で男性の方は一人だけです。もっと増えてもいいのではないかと思います。本当にありがとうございました。

相談室から

相談件数は、5年連続で1,000件を超えました。

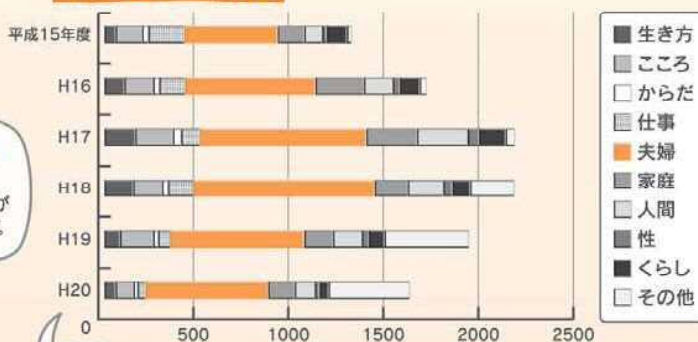
平成20年度の相談件数は、平成19年度に比べて13.2%の減少となりました。今回は前年度に比べて減少となったものの、5年連続で1,000件を超える相談が寄せられています。多くの方が、様々な問題を抱えて悩んでいる現状が伺えます。

一般相談件数



平成20年度も、夫婦問題に関する相談のなかで、「離婚・別居」に関する相談が4割以上を占めるという傾向は続いており、続いて「暴力」に関する相談が3割となっています。夫婦の問題に関して「暴力」の相談が約3割という結果から、あらためてドメスティック・バイオレンス(DV)が特別な夫婦に限られたことではないということが伺えます。

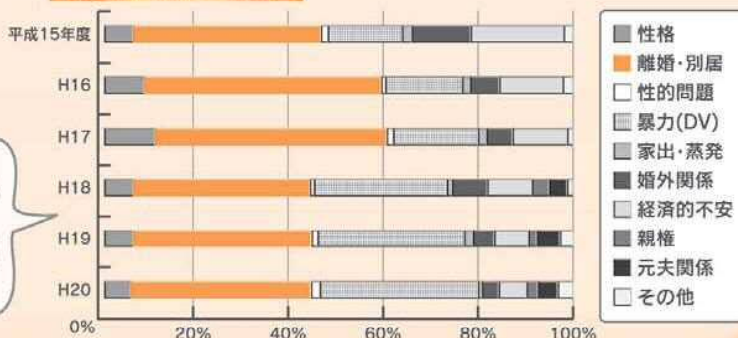
相談内容別相談件数



最も多いのは夫婦問題の相談!

平成20年度も「夫婦問題」に関する相談が最も多く、その割合はおよそ43.4%となっています。なお、その他の相談に関する割合を除いて、2番目に多いのは、「家庭(親子・親族)の悩み」に関する相談でおよそ9.5%を占めています。次いで、「人間関係の悩み」に関する相談が5.4%となっています。

A. 夫婦問題内容別割合



講座イベントのお知らせ

男女共同参画地域協働推進講座

- 内容** 県や市町村との協働による男女共同参画の推進に必要な知識と手法を学ぶ講座です。
- 講師** 武隈 晃さん(鹿児島大学教授、鹿児島県男女共同参画審議会委員)
たもつ ゆかりさん(オフィスビュア代表、鹿児島県男女共同参画審議会委員)
橋口 愛子さん(ライフサポートYOU代表)
- 日時・場所** 9月20日(日)・27日(日)/始良・伊佐地域振興局本庁舎会議室
11月7日(土)・21日(土)/熊本支庁本庁舎会議室
12月5日(土)・19日(土)/県民健康プラザ健康増進センター(鹿屋市)
- 対象・定員** 県民50名程度
(応募多数の場合は別に定める選考基準により受講者決定)

女性に対する暴力の問題に関する講演会

- 「DVってなに?～お互いを尊重しあえる関係を築くために～」
- 内容** 「女性に対する暴力をなくす運動」(平成21年11月12日～25日)の一環として、女性に対する暴力の問題について講演会を開催します。
 - 委託業者** (社)日本家政学会 家政教育部会
 - 講師** 下敷領 須美子さん(鹿児島大学准教授)
正保 正恵さん(福山市立女子短期大学准教授)
倉元 綾子さん(鹿児島県立短期大学准教授)
 - 日時** 平成21年11月14日(土) 開場13:00/開演13:30/終了16:30
 - 場所** かごしま県民交流センター西棟2階中ホール
 - 対象・定員** 県民200名(先着順)
- ※手話通訳、要約筆記を行います。※託児(要予約)

若者による暴力未然防止のためのワークショップ

- 内容** デートDVについて正しい知識を提供し、若者がデートDVの被害者・加害者にならないための予防活動について考えます。
- テーマ** 「デートDV～私たちの身近におこりうる暴力」
- 委託団体** 鹿児島純心女子大学サークル S&I
- 日時** 平成21年10月24日～25日
- 場所** 鹿児島純心女子大学キャンパス
- テーマ** 「「デートDV」って知ってます?」
- 委託団体** 鹿児島大学医学部保健学科サークル ヒア☆びあ☆かごしま
- 日時** 平成21年11月21日又は22日(詳細は男女共同参画センターへ)
- 場所** 鹿児島大学(桜ヶ丘キャンパス)

「仕事と生活の調和」のための講演会

- 「経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス」
- 内容** 県民一人ひとりとはもとより社会や企業にとっても不可欠とされる「ワーク・ライフ・バランス」の理解と実現に向けて講演会を開催します。
 - 委託業者** かごしま女性政策研究会
 - 講師** 渥美 由喜さん((株)東レ経営研究所 ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長)
 - 日時** 平成21年12月10日(木) 開場13:00/開演13:30/終了15:30
 - 場所** かごしま県民交流センター西棟2階中ホール
 - 対象・定員** 県民200名(先着順)
- ※手話通訳、要約筆記を行います。※託児(要予約)

「仕事と生活の調和」のためのワークショップ

- 内容** 働きながら家事、子育て、介護などを行う女性の立場から、必要とされる法律について学びます。
- 委託業者** 北薩女性士業交流会
- 日時** 平成21年12月10日(木)開場9:40/開演10:00/終了12:00
- 場所** かごしま県民交流センター東棟3階大研修室
- 対象・定員** 県民50名(先着順)

女性のキャリアアップ支援講座

- 「伝える技/プレゼンテーション」
- 内容** プレゼンテーション力とは何か?コミュニケーション力とは何か?すぐに役立つ実践力を身に付ける。
 - 委託業者** 特定非営利活動法人
日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会
 - 講師** 森園 仁美さん(鹿児島支部長)
 - 日時** 平成21年12月12日(土) 10:00～16:30
 - 場所** かごしま県民交流センター東棟3階大研修室
 - 対象・定員** 働く女性30名(先着順)
- ※託児(要予約)

女性のチャレンジ支援講座

- 「女性の生き方と働き方を考える」(2回講座)
- 内容** 就職・転職・結婚・出産・子育て・再就職・介護と女性を取り巻く環境は目まぐるしく変化する。「自分らしい生き方と働き方」を考える。
 - 委託業者** 特定非営利活動法人
日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会
 - 講師** 白根 陸夫さん(理事長)
森園 仁美さん(鹿児島支部長)
 - 日時** 1回目 平成22年1月27日(水) 13:00～15:30
2回目 平成22年2月3日(水) 13:00～15:30
 - 場所** かごしま県民交流センター東棟大研修室
 - 対象・定員** 2回受講できる女性30名程度(先着順)
- ※託児(要予約)

- 費用** すべて無料です。
- 申込方法** はがき、電話、ファクシミリ、電子メールのいずれかで氏名・年齢・住所・連絡先電話番号をお知らせください。

講座等のお問い合わせは

鹿児島県男女共同参画センター

☎ 099-221-6603

FAX 099-221-6640

✉ harmony@kagoshima-pac.jp

※講座開催中、託児を行うものについて
託児の対象は、6ヶ月から小学校2年生までとなります。

グループ * 紹介 *

『S&I』

私たち、鹿児島純心女子大学のS&Iというサークルメンバー14人は、若い世代の女性と男性が関係性を築く際、いかにメディアの影響を受けているかに気付いてもらい、対等な関係を構築するにはどのようにすればいいかを考える機会を提供することを目的として活動しています。具体的な活動内容としては、日々の学習を県民の皆さんの前で発表し、一緒にディスカッションをして率直な意見交換をしています。昨年までは毎年開催されていた鹿児島県男女共同参画フォーラムや薩摩川内市主催の男女共同参画フォーラムで分科会を毎年担当してきました。また薩摩川内市全世帯に配られる広報紙の編集委員も務めています。

私たちがこのサークルを立ち上げたのは、大学の講義の中でデートDVやメディアリテラシーについて学び、私たちがいかに気付かぬ間にメディアから影響を受けているかについて認識し、何か私たちにできることはないかと考えたからです。

今、若者たちは、メディアが流す情報によって男女の関係がゆがめられ、またこのことが恋人間の暴力であるデートDVの温床にもなっていると考えられます。このような現状を踏まえ、女性の人権を守り対等な男女関係を築くにはどのようにしていけばいいかを考えるきっかけを若者に提供し啓発していきたいと思っています。

同じ世代の私たちが訴えかけることに意味があるのではないかと考えており、それがこのサークルを立ち上げた一番のきっかけでもあります。自分の心や体は自分のものであり、かけ

がえのないものだから、自分の頭で考え自己決定していくことがいかに重要かを認識してもらいたいです。10月には鹿児島純心女子大学学園祭で、早稲田大学の兵頭知佳さんをお招きしてデートDVをテーマに、学園祭に来る誰もが立ち寄れるような屋外のステージで発表、そしてその後みんなで意見交換のできる場を設ける予定です。また、今後は中学校や高等学校に出向いての啓発活動を準備していますので、いつでもお気軽に声をかけていただけたらと思います。



デートDVの寸劇を演じているS&Iのメンバー

お知らせ

男女共同参画サロンのご案内

●ミーティングルーム

1階男女共同参画サロンにミーティングルームを設置しています。男女共同参画社会づくりに向けて自主的に取り組んでいるグループ等を対象に、打ち合わせやグループ間の交流に使用できます。(要事前予約:2階事務室まで)

●図書の出貸

サロンにある男女共同参画に関する図書の出貸を行っています。

貸出冊数 一人につき5冊まで 貸出期間 3週間以内

編集後記

今回は、昨年誕生した13名の男女共同参画地域推進員(以下、推進員という)の方々を特集しました。平成20年度から平成22年度にかけて男女共同参画地域協働推進講座を開催し、県内各地に推進員を委嘱します。この推進員を中心に男女共同参画の地域への普及・啓発を進めてまいります。

かごしま 県民交流 センター

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)12月29日~1月3日 開館時間 9:00~17:00
施設利用 施設の利用は有料で、使用許可申請が必要。生命と環境の学習館、県政記念館の観覧は無料。

●周辺地図



交通案内

JR

鹿児島中央駅から鹿児島駅までJR 約5分
鹿児島駅から徒歩 約10分

市電・市バス

「鹿児島市役所前」下車徒歩 約5分
「水族館口」下車徒歩 約5分

駐車場

約530台収容 150円/30分
※センター利用者は2時間まで無料

編集・発行

鹿児島県男女共同参画センター

(かごしま県民交流センター内) 〒892-0816 鹿児島市山下町14-50

●ハーモニーの掲載記事(バックナンバーを含む)は、センターホームページにも掲載しております。

TEL 099-221-6603

FAX 099-221-6640

Eメール harmony@kagoshima-pac.jp

ホームページ http://www.kagoshima-pac.jp